

各 位

会社名：株式会社 G-7 ホールディングス
代表者 代表取締役会長 木下 守
(コード：7508、東証第 1 部)
(電話番号：総務部広報 078-797-7700)

=====
G-7 アグリジャパン、新コンセプトの農産物直売所を西宮にオープン

関西初！ブームを呼んでいる野菜の機能性、『抗酸化力』『免疫力』『解毒力』を提案

～鮮度の見える化と上質にこだわった店舗運営のモデル店～
=====

東証一部上場の株式会社 G-7 ホールディングス(証券コード 7508)のグループ会社である株式会社 G-7 アグリジャパン(神戸市須磨区、代表取締役社長：川邊 実千夫、以下 G-7 アグリジャパン)は、農産物直売所「めぐみの郷」を 18 店舗展開しています。11 月 20 日、西宮市に新しいコンセプトの農産物直売所「めぐみの郷・西宮上ヶ原店」をオープンいたします。



▲店舗スタッフの制服も、一新

新たなコンセプトは、

1. 安心・安全はもちろんのこと、鮮度を明確にすること
2. 旬野菜の持つチカラをお伝えすること
3. 美味しい・上質にこだわる

同店は、これまでの農産物直売所をさらに進化させた店舗で、今後、都市部における「めぐみの郷」展開のモデル店です。

【安心・安全、鮮度を明確にするとりくみ】

農産物には、産地や生産者名を表示するだけでなく納品日を明記し、鮮度の見える化を実現しました。そして、農産物は、プロとして高い基準で生産されている生産者さんを厳選しました。

【旬野菜の持つチカラを伝えるとりくみ】

同店最大の特徴が、野菜の持つ機能性、『抗酸化力』『免疫力』『解毒力』ごとに野菜を並べた売り場を店内に併設していることです。野菜の知識が豊富なスタッフが旬野菜のもつ美味しさと効用を、健康意識の高いお客様に提案するもので、農産物直売所初の試みです。

【美味しい・上質にこだわるとりくみ】

兵庫県産を中心に、安全・安心・おいしいを概念に、選りすぐった商品を集めました。また、G-7 グループ会社の G-7 食品システムが全国から集めた約 4 万点のこだわり食品の中から、さらに厳選した調味料やグロッサリーを提供します。

【機能野菜ブームの背景】

日本人ひとり、1 日あたりの野菜摂取量目標は、350g とされています。しかし農林水産省の食品需給表によると、日本人ひとりの 1 日の野菜消費量は、平均 266.5g です。一方で、生活習慣病(糖尿病、高血圧、高脂血症など)が増えています。野菜の摂取が生活習慣病の予防になると、少ない量でも従来の野菜より高い栄養を摂取できる「機能性野菜」が開発され、機能性ブロッコリーや高リコピントマトなど、いずれも割高ですが、健康意識の高い方に人気です。

